蛋白質-蛋白質相互作用から知的財産権創生へ

1）集中的解析（右図①）

・公共DB（既知データ）参照
・遺伝子発現データ
・蛋白質複合体データ

2）個別研究（右図②）

3）着目相互作用（群）のvalidation
（相互作用の生理学的意味）

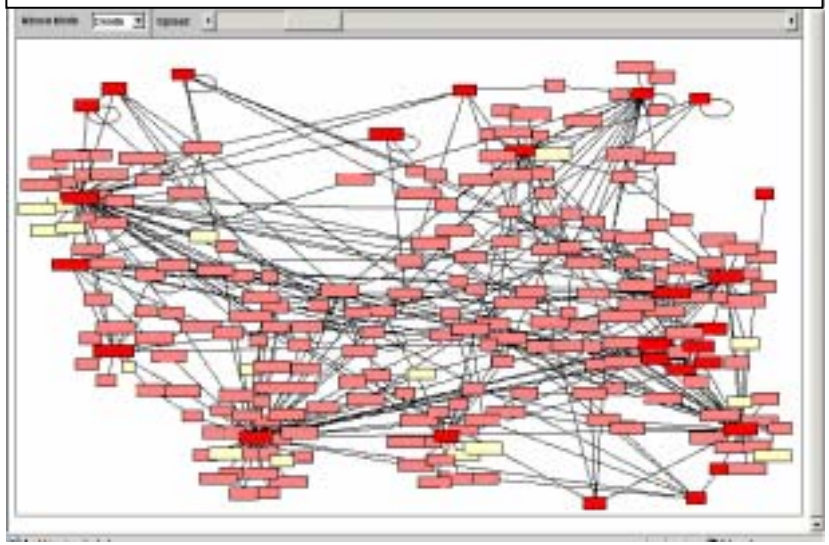
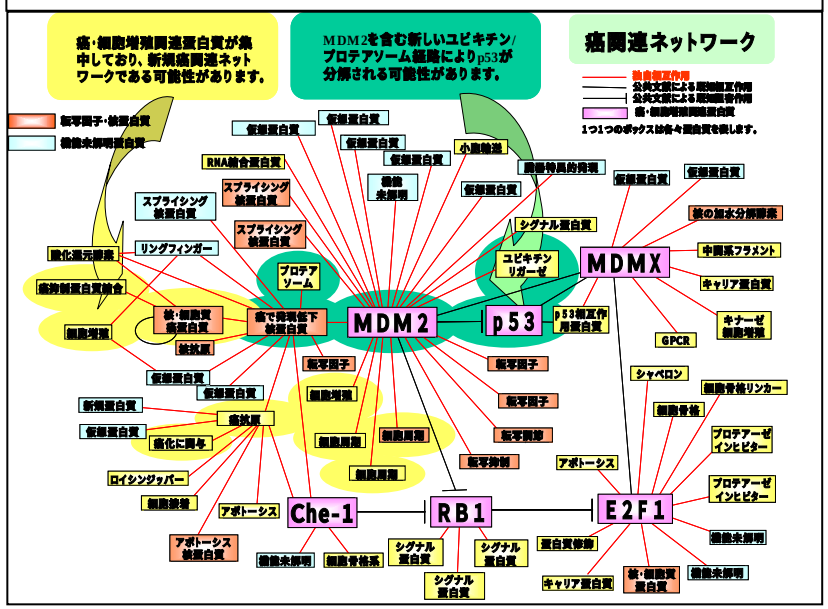
・細胞レベルアッセイ
・ケモジェノミクス、ケモプロテオミクス
・cSNP-相互作用相関

4）特許出願

特許クレーム骨子（例）

1. 蛋白質-蛋白質からなる単離された蛋白質複合体
2. 蛋白質複合体に対する各種抗体
3. 抗体による蛋白質複合体の検出法
4. 蛋白質複合体形成の阻害または促進に影響を与えるモジュレーターの選択法
5. モジュレーターが蛋白質間相互作用を調節できるか否かの判定法
6. モジュレータ-による、蛋白質複合体の生理機能の調節法
7. 蛋白質（複合体）またはその抗体を含む薬剤組成
8. 蛋白質複合体（の異常）による患者の診断法(キット)

① 集中的（網羅的）解析



② 個別（疾病特異的）研究